

## ■特別行事■

### ●大阪自然史フェスティバル2016

「大阪自然史フェスティバル」は、自然関連のサークル、地域の自然保護団体等が一堂に会して出展する文化祭です。関連する博物館や企業も参加し、活動紹介やワークショップ等を通じて、市民のみなさんに大阪周辺の自然の現状や自然に関わる楽しさを知っていただくために開催するイベントです。自然に興味のある多くの方々の来場をお待ちしております。

日時：11月19日(土)、20日(日) 午前9時30分～午後14時30分  
会場：自然史博物館 本館、博物館玄関前ポーチ、  
ネイチャーホール

参加費：無料(「関西文化の日」のため、入館料も無料)  
お問合せ：昆虫研究室内の松本  
お申込み：不要

### ●大阪府高等学校生徒生物研究発表会

大阪府内の高等学校の生徒の皆さんが、日頃取り組んでいる生物に関しての研究や活動について発表します。毎年1回開催されているこの発表会は、今年で第68回を数える伝統のある行事です。一般の方にもご覧頂けます。

日時：11月23日(水・祝) 午前10時～午後4時30分  
会場：大阪市立自然史博物館 講堂  
参加費：無料(博物館入館料必要)  
お問合せ：動物研究室の石田  
お申込み：不要

## ■植物園案内■

### ●植物園案内

植物研究室内の学芸員が長居植物園を案内し、その季節の植物の説明と観察を手引きします。

日時：毎月第4土曜日 午後2時30分～4時  
集合：自然史博物館 玄関前ポーチ  
参加費：無料(植物園入園料必要)  
お問合せ：植物研究室  
お申込み：不要

### ●植物園案内・昆虫編(12月)「冬越しの虫さがし」

虫は寒い冬の間をどう過ごしているのでしょうか? 卵、幼虫、蛹、成虫…様々な段階で冬越ししている虫を探します。

日時：12月3日(土) 午前10時～12時 ※雨天中止  
集合：自然史博物館 玄関前ポーチ  
参加費：無料(博物館入館料必要)  
お問合せ：昆虫研究室内の松本  
お申込み：不要

## ■ジオラボ■

化石や岩石、鉱物、地層等について簡単な実験や観察を行ないながら学ぶことができます。

### ●メタセコイアの化石

今年はメタセコイアが化石として発見されて75年になります。化石として発見された特徴を生きているメタセコイアと比べながら観察してみましょう。

日時：11月12日(土) 午後2時30分～3時30分  
会場：自然史博物館 ミュージアムサービスセンター  
参加費：無料(博物館入館料必要)  
お問合せ：地史研究室の塚腰  
お申込み：不要

### ●ボーリング資料を使って地質断面図を描く

大阪平野のような平らな場所では、地下にどのような地層があるのか調べるために、地面に機械で穴を掘って、地下の地層をくりぬいて取り出して調べます。そのような調査をボーリング調査といいます。博物館にあるボーリング資料を使って、地下にどのような地層があるのか調べて、地質断面図を描きます。そして、大阪平野のおいたちについて考えてみます。

日時：12月10日(土) 午後2時30分～3時30分  
会場：自然史博物館 ミュージアムサービスセンター  
参加費：無料(博物館入館料必要)  
お問合せ：第四紀研究室の石井  
お申込み：不要

## ▽▲ 編集後記 ▲▽

特別展も終わり、もうすぐ遠足シーズンも終わりです。博物館に足を運ぶ人がだんだん少なくなります。その分、ゆっくり展示を見学することができる期間です。そして、11月19・20日(土・日)には「大阪自然史フェスティバル」を開催したり、本紙でも紹介した特別陳列もあります。この秋・冬も面白いイベントや展示を行ないますので、ぜひ、ホームページやチラシでもチェックしてください。(大江)



# Teachers - Museum 通信 2016 No.2

2016/11/6  
編集・発行：大阪市立自然史博物館

---

〒546-0034 大阪市東住吉区长居公園1-23 tel 06-6697-6221 (博物館代表番号)  
http://www.mus-nh.city.osaka.jp/ (学校向けページやキッズページも充実しています)  
e-mail: tm@mus-nh.city.osaka.jp



※送付先の変更や、メールアドレスの変更などあれば、ご連絡ください。経費削減のため、なるべく通常の通信はEメールで連絡させていただきます。登録時に郵送を希望された方でメールアドレスを取得した場合は上記までご連絡ください。

## ■特別陳列を多数行います■

10月16日(日)をもちまして、特別展「氷河時代—化石でたどる日本の気候変動—」は好評のうちに閉幕いたしました。これで今年度の特別展は全て終了しましたが、自然史博物館 本館のイベントスペースなどで、特別陳列を多数行います。それにともない、関連行事も行います。行事情報は3ページ目に掲載しています。この期間にしか見られない展示や研究の成果をお見逃しなさい、足をお運び下さい。

※関連行事へは、HPなどで詳細をお確かめの上、ご参加下さい。

### ●特別陳列「三木茂博士が研究したメタセコイアの化石」

公益財団法人大阪市博物館協会・公立大学法人大阪市立大学包括連携協定企画  
生きている化石「メタセコイア」—化石発見75周年・生存発見70周年記念—

10月29日(土)～11月20日(日) 場所：自然史博物館 本館 2階イベントスペース

今年、2016年はメタセコイアの化石発見から75年、生存が発見されてから70年になります。メタセコイアは、三木茂博士(元 大阪市立大学教授)が化石を発見し、その後、中国で生存していることが分かりました。そして、大阪市立大学に事務局があったメタセコイア保存会が挿し木や苗木で日本各地に増やし、今では、公園や学校でもよく見られるようになりました。メタセコイア発見の経緯や、普及、化石と現生種の特徴などを展示や関連行事で学んでみましょう。



▲メタセコイアを発見した三木博士

### ●日本甲虫学会・大阪大会 開催記念展示「関西甲虫研究史」

平成28年11月26日(土)～平成29年1月31日(火)

場所：自然史博物館 本館 2階イベントスペース

11月26日(土)・27日(日)に自然史博物館で日本甲虫学会が開かれます。日本甲虫学会は、甲虫学の発展と甲虫研究者および愛好者の交流を目的として、機関誌の発行、年次大会、地方例会、および調査観察例会を開催しています。今回は、甲虫学会が大阪で開催されるのを機に、関西での甲虫研究の歴史を振り返る展示を行います。

また、日本甲虫学会当日には、講演会(26日のみ)やポスター発表の一般公開、甲虫学会に参加している専門家による同定会(27日のみ)も開催されます。甲虫に興味のある方はこちらまでご参加ください。



### ●ジュニア自由研究・標本ギャラリー

平成28年12月3日(土)～平成29年1月29日(日) 場所：自然史博物館 本館

毎年、自然史博物館では、小中学生・高校生のみなさんが夏休みに行った自由研究や、作った標本を募集し、展示しています。自然や生き物が大好きな子ども達が、今年の夏休みはどのような研究や標本作りを行ったのか、是非見に来て下さい。



▲去年の展示の様子

## ■【報告】教員のための博物館の日2016■

今年で5回目となった「教員のための博物館の日」。「博物館は教員のみなさんの『難しい!』をサポートします」をテーマに、事前に小学校の教員が授業をするのが難しいと感じる理科の単元を調査し、結果を踏まえて企画・実施しました。参加者は過去最高の121名で、小学校の教員が参加者の6割にのぼりましたが、「小学校教員対象のプログラムでも参考になる」と中学校・高等学校の教員の参加もありました。また、当日の参加者アンケートによると、大阪市立自然史博物館での「教員のための博物館の日」に参加したのは、初めてという人は77%で、リピーターが増えてきたといっても、まだまだ初めての参加の人が多かったです。大阪市教育センターでの夏の研修として参加される方も多いため、これまで博物館をあまり積極的に利用されていない教員のみなさんも参加してくださっていると思います。

例年、参加者アンケートでは、「とてもよかった」「よかった」と回答される方がほとんどで、満足いただいているようであると考えていますが、「教員のための博物館の日」の経験が、実際、学校現場でどのように生かされているのか、いないのかを調査するため、今年は、事後アンケートを実施します。参加者のうち、アンケート協力を了解して下さった方のところに、11月下旬～12月上旬にお送りします。また、実施しましたプログラムをさらに深める機会として、11月6日(日)室内実習「平野の地下の地層の調べ方」(申込み受付終了)、1月15日(日)室内実習「裸子植物」をフォローアップ研修とします。継続して博物館と関わり、博物館と学校の連携を一緒に考える教員が増えることを、博物館としても願っています。



▲学芸員と一緒に歩く解説ツアー  
特別展「氷河時代」で学ぶ森の移り変わり



▲学校の地下の地層  
～ボーリング標本の見方・楽しみ方

## ■特別展のワークシートの利用について■

特別展「氷河時代」では、ここ最近の特別展に比べて、高校生・大学生の来場者が増加しました。特に夏休み中は、ワークシート片手に見学する中高生の人たちをたくさん見かけました。中学生の入場は無料ですが、高大生はワークシートの提示で100円引きになります。この割引きを利用した入場者数も増えています。また、高校・大学の団体も例年より多く来ていただき、こちらもワークシートを使って見学する団体が多かったです。

このワークシートは、特別展のHPでもダウンロードできるので、自分で印刷して持ってきた人もいますが、やはり夏休みの課題に採用していただいた学校も多かったのではないかと思います。過去の特別展と比べても、今回は学校の授業に直結した内容だったので、課題にしやすかったのではないかと考えています。

TM通信を読んでいただいている先生方の中で、ワークシートを課題に採用していただいた方がいらっしゃいましたら、「なぜ今回の特別展のワークシートを採用したのか?」、「ワークシートを使っての感想やご意見」をぜひお聞かせください。

また、「氷河時代」展では、小学校の遠足向けにもワークシートを作成しました。実際にこのワークシートを使って見学した学校や、先生達がオリジナルで作られたワークシートを利用して見学した学校の先生がいらっしゃれば、その内容や様子もぜひ教えて下さい。

**ワークシートに関するご意見などの連絡先→博学連携担当 大江(a-oe@ocmo.jp)**

今後の特別展でも、ワークシートを作っていこうと思っています。ワークシートができれば、TM通信でもお知らせしていきますので、課題にいただけたら幸いです。ワークシート割引きも継続していく予定です。お得に特別展が見学できますので、課題には出さなくても、生徒のみなさんにお知らせしていただければと思います。

## ■行事案内■

自然史博物館では様々な行事を開催しています。申込みが不要な行事と必要な行事がありますので、行事情報をチェックしてご参加ください。博物館ホームページ「イベント」メニューからも申込みが簡単にできます。

### ◎ 申し込み方法

往復はがきか電子メールに、下記の内容を書いて博物館普及係あてに申し込んでください(※切日必着)。  
博物館のホームページからも、お申し込みいただけます。

1. 参加希望の行事名
2. 参加者全員の住所・名前・年齢・電話番号
3. 返信連絡先(往復はがきには返信用のあて名)

※定員を超えた場合は抽選することがあります。

抽選結果、集合場所、集合時間、持ち物など、詳しい内容は返信ハガキか電子メールでお知らせします。

### ◎ 申し込み先

〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園 1-23  
大阪市立自然史博物館 普及係  
ホームページ:<http://www.mus-nh.city.osaka.jp/>  
e-mail: [gyouji@mus-nh.city.osaka.jp](mailto:gyouji@mus-nh.city.osaka.jp)

## ■特別陳列関連行事■

### ●大阪市立大学植物園観察会

メタセコイアは、100万年前まで大阪平野に生育していました。大阪にメタセコイアが生育していた時代の植物を集めた太古の森を観察します。また、1950年にアメリカからメタセコイア保存会へ贈られたメタセコイアの苗木の成長した姿も見てください。

日 時: 11月27日(日)午後1時30分～3時  
会 場: 大阪市立大学理学部附属植物園  
定 員: 40名(定員を超えた場合は抽選)  
参 加 費: 無料(博物館入館料必要)  
お問合せ: 地史研究室の塚腰  
お申込み: 必要<締切11月10日(木)>

### ●公開講演会「関西甲虫研究史」

近畿甲虫同好会の創立初期から関わった澤田高平氏、関西甲虫談話会を現在も運営する水野弘造氏らによる、講演や討論を行います。関西での甲虫研究を振り返り、若手育成など、将来への課題を探ります。

日 時: 11月26日(土) 午後1時～2時45分  
会 場: 自然史博物館 講堂  
定 員: 50名(定員を超えた場合は抽選)  
参 加 費: 無料(博物館入館料必要)  
お問合せ: 昆虫研究室の初宿  
お申込み: 必要<締切11月14日(月)>

### ●一般公開「甲虫学会ポスター研究発表」

日本甲虫学会・大阪大会の、研究成果をまとめた掲示物による発表を公開します。甲虫研究の最前線に触れられる貴重な機会です。

日 時: 11月26日(土)、27日(日)  
午前9時30分～午後4時30分  
会 場: 自然史博物館 ネイチャーホール  
(花と緑と自然の情報センター2階)  
参 加 費: 無料  
お問合せ: 昆虫研究室の初宿  
お申込み: 不要

### ●甲虫限定 一般公開「標本同定会」

標本にした甲虫類の名前を、甲虫学会参加の専門家がお答えします。名前を調べたい標本は、ご自身で整理して、できるだけ図鑑などで名前を調べ、分からなかったものだけをお持ちいただき、多量のお持ち込みはご遠慮ください。甲虫類以外是对応いたしません。

日 時: 11月27日(日) 午前9時30分～11時  
会 場: 自然史博物館 ネイチャーホール  
(花と緑と自然の情報センター2階)  
参 加 費: 無料  
お問合せ: 昆虫研究室の初宿  
お申込み: 不要

### ●<ギャラリートーク>「関西甲虫研究史」展

展示を担当した学芸員による展示解説を、会場にて行います。

日 時: 12月17日(土)、24日(土) 午後0時30分～0時55分  
会 場: イベントスペース(自然史博物館本館2階)  
参 加 費: 無料(博物館入館料必要)  
お問合せ: 昆虫研究室の初宿  
お申込み: 不要

## ■オープンセミナー■

学芸員や研究者が自然史科学を話題に講演します。

### ●ハナシノブ調査紀行

日本産のハナシノブの仲間はきれいな青紫色の花を咲かす多年草です。ハナシノブの仲間の日本での分布パターンはとて変わっており、その魅力にとりつかれた私は8年ぐらひかけて日本各地の自生地を訪ね歩き、生態や分布などを調べてきました。このセミナーでは、白神山地の奥地など普通は行けないような場所での調査の様子も含めて、笑いあり涙ありの紀行文調でハナシノブの魅力をお伝えしたいと思います。

日 時: 12月17日(土) 午後1時～2時30分  
会 場: 自然史博物館 集会室  
講 師: 横川昌史(植物研究室)  
参 加 費: 無料(博物館入館料必要)  
お問合せ: 植物研究室の横川  
お申込み: 不要